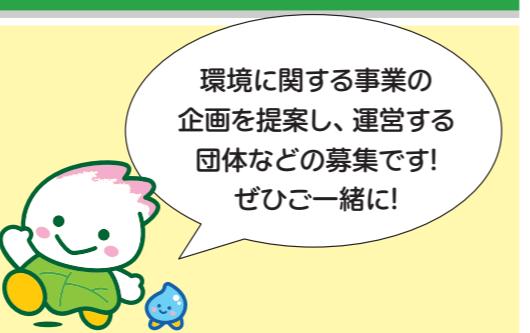


〈企画提案事業についてのご案内〉

講習会や見学会などを企画・運営してみませんか？

えどがわエコセンターでは、多くの団体の皆さんと、環境に配慮した暮らしをするためのさまざまな講習会やバス見学会、体験教室などを企画し活動しています。

環境について関心をお持ちで、えどがわエコセンターとともに講習会や見学会などの企画や運営をしてみたい団体・個人の方は、ぜひご連絡ください！一緒に活動しましょう！



各団体による主な活動例

脱炭素社会づくり 省エネ

- ソーラークッカーズづくり
- 自然エネルギー施設見学会
- エコ料理教室
- キャンドルスタンドづくり
- 家庭の省エネ診断

自然環境保全

- マダケを使った水鉄砲づくり
- 池の水棲生物調べ
- 荒川中土手の自然遊び
- ムジナモを育てよう
- 野鳥観察会

循環型社会づくり

- おもちゃの病院
- 生ごみ堆肥づくり講習会
- 布ぞうりづくり講習会

船上観察会～屋形船に乗ってラムサール条約湿地を見に行こう！～

毎年2月にラムサール条約湿地である葛西海浜公園において、屋形船を使った船上観察会を実施しています。船内の解説やデッキからの野鳥観察、江戸前料理の昼食など大変好評です。

寄付のお願い

皆さまからの寄付は持続可能な地域社会づくりに貢献する取り組みに活用いたします。認定NPOへの寄附は税制優遇の対象です。ご希望の方には証明書を送付します。

**認定NPO法人 共育・協働の環境づくり
えどがわエコセンター**

住 所：〒134-0091 東京都江戸川区船堀4-1-1 タワーホール船堀3階
T E L：03-5659-1651 FAX：03-5659-1677
E-mail：edogawa-ecocenter@bz01.plala.or.jp
U R L：https://edogawa-ecocenter.jp/
Facebook：https://www.facebook.com/edogawa.ecocenter
開館時間：9:00～17:30 定休日：日曜・祝日

※機種によっては読み取りづらい場合があります

エコちゃんねる

えどがわエコセンター情報紙 vol.68

January 2026

エコちゃんねる=えどがわエコセンターのイメージキャラクター・エコちゃん+Channel（情報を送る） 2004年7月創刊



葛西沖の昔と今



1972 (昭和47) 年 出典：国土地理院ウェブサイト



2001 (平成13) 年 出典：国土地理院ウェブサイト



ヤマトオサガニ

ラムサール条約湿地に登録された葛西海浜公園。葛西沖の昔はどのような様子だったのか知っていますか？自然の宝庫である葛西沖の昔、そして今の姿を写真を使って紹介します。



葛西沖の歴史と、ラムサール条約登録湿地・葛西海浜公園の今

自然豊かな葛西の海

昭和30年頃までは、葛西沖は三枚洲と呼ばれる干潟が広がり、冬は葛西海苔、夏はアサリやハマグリなどの貝類や江戸前の魚がとれていました。潮干狩りや海水浴ができ、遠浅の海が広がる自然豊かな環境でした。



1955
昭和30年頃



提供:江戸川区郷土資料室

清新町や臨海町の位置する場所は、かつて、豊かな海が広がっており、漁業が盛んにぎわいを見せっていました。その後、昭和40年頃まで地盤沈下や水質汚濁といった環境問題が起きて、人々の生活に大きな変化をもたらしました。そして、自然保護への配慮をしながら行われた葛西沖開発によって、今の葛西の風景が誕生しました。

葛西沖開発事業による埋立工事と公園整備

昭和47年から始まった葛西沖開発の一環として、自然環境の保全と回復を図り、人々が水に親しむことを目的に葛西海浜公園が整備されました。

1973
昭和48年頃



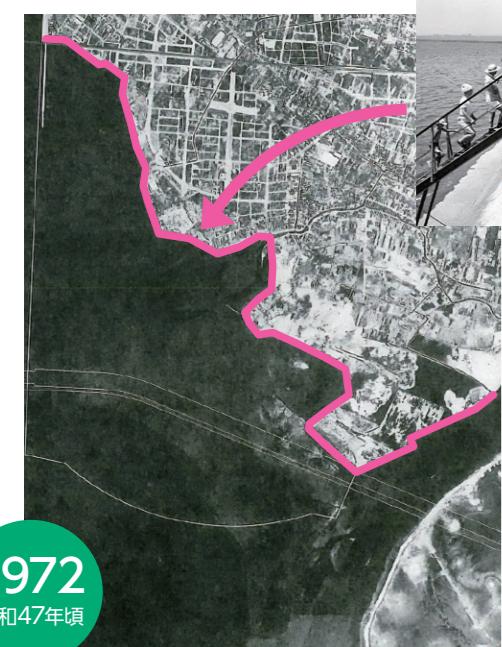
1975
昭和50年頃



1979
昭和54年頃



出典:国土地理院ウェブサイト



1972
昭和47年頃

浸水被害を防ぐ葛西海岸堤防

高潮による浸水被害や塩害被害から葛西地区を守るために、昭和32年に完成しました。



現在の
旧葛西海岸堤防跡
(西葛西2丁目付近)



©江戸川区

出典:江戸川区ウェブサイト

1995
平成7年頃



葛西海浜公園の人工なぎさは、東を生物保護区(立入禁止区域)、西をレクリエーション区とすることになりました。また、このようになぎさを2つに分けることで、公園内の水質浄化にも効果があると言われています。

現在では、土地区画整理により、まちの動脈となる道路や、公園・緑地の整備も進みました。また、葛西沖には自然豊かな葛西臨海公園や海浜公園が整備され、多くの生きものが生息し、人と生きものそして自然がふれあう憩いの場となっています。

よみがえった葛西沖



再び豊かな海を取り戻そうという多くの方々の思いによって、今まで自然豊かな環境が回復してきています。



西なぎさ

夏には海水浴体験などが実施される浜辺が広がっています。



東なぎさ

(ラムサール条約登録湿地)
人工的ななぎさでありながら、様々な生きものが生息する生きものの宝庫となっています。

葛西海浜公園で活動しているみなさん

ふるさと東京を考える実行委員会



2026
令和8年

次世代の子供たちのため東京湾再生を目指して、海水浴、里海まつり、ビーチクリーンなどを行っています。

DEXTE-K



次世代へ「江戸前の海」をみんなで育て、護る「西なぎさ発:東京里海エイド」の活動を展開しています!

葛西海浜公園パートナーズ



人が集い、自然が息づく海辺の公園づくりに取り組んでいます。

東なぎさクリーン作戦



えどがわエコセンターでは、東なぎさの保全のため、毎年春と秋の2回清掃活動を実施しています。

ラムサール条約湿地に登録!

スズガモやカンムリカツブリなどの水鳥が飛来することから、国際基準を満たし、ラムサール条約湿地に登録されました。



葛西沖の
主なできごと

1932年
昭和7年
江戸川区誕生

1947年
昭和22年
カスリーン台風で江戸川区の60%水没

1949年
昭和24年
キティ台風により海岸堤防決壊

1954年
昭和29年
葛西海岸堤防工事開始

1957年
昭和32年
葛西海岸堤防改修完成

1967年
昭和42年
葛西海岸堤防改修完成

1970年
昭和45年
ごみ不法投棄阻止のための道路封鎖実施

1972年
昭和47年
葛西沖開発土地区画整理事業の事業計画決定

1989年
平成元年
葛西臨海公園・葛西海浜公園開園

1996年
平成8年
葛西沖開発土地区画整理事業完了

2012年
平成24年
海水浴体験の取り組み開始

2018年
平成30年
葛西海浜公園がラムサール条約湿地に登録